

急激な円高（1ドル＝86円台）についての会頭コメント

昨秋の世界的な景気後退以降、京都の輸出関連企業にとって、円高・ドル安は、企業収益を圧迫する要因の一つとなっている。本格的な需要回復への道筋が見えない中、過剰な円高が続けば業績へのより一層の悪影響は避けられない。

政府と日銀に対しては、主要国の政府・中央銀行と協調し、極端な円高水準に定着させないよう、為替安定のために早急な対応を求めたい。

会員企業には、中長期的視野に立ち、円高のプラス・マイナスを見極めながら、両面の対策と戦略を打っていくとともに、内需主導型経済への構造転換に対応するための経営努力を望みたい。

以 上

平成21年11月26日
京都商工会議所
会頭 立石 義雄